

# 希薄化するナショナリズム意識

## ーサッカー界における国籍意識の変容ー

鈴木章也

近年拡大するグローバル化においてスポーツの分野にもその広まりは及んでいる。各国のリーグ戦や大会では様々な国籍の選手が活躍している。しかし、国家単位で行われる国際大会では国籍を変更して出場する選手も中には存在する。私は国の代表として参加する大会に国籍を変更して出場することに疑問を抱き、そのような事象の背景にはナショナリズム意識が希薄化しているのではないかと仮定した。私はスポーツの中でもサッカーに注目した。

第1章ではサッカーの現在までの成り立ち。第2章では国籍について。第3章では実際に代表チームを変更した選手の紹介。第4章では第3章で挙げた選手たちのコメントから変更した理由を考察。第5章ではスポーツの商業化が代表チームを変更することに関係していると仮説を立てて考察した。

結論、サッカーが根付いているヨーロッパ諸国などでは重国籍が認められていて、自身が生まれた国だけでなく、自分には複数の国にルーツがあるというアイデンティティが生まれ、ナショナリズム意識は希薄化していることがわかった。また、それに加えスポーツが商業化していることにより、その最も価値のある国際大会に出場し、自身のキャリアをよりよくするために代表チームを変更していることがわかった。